



2018-2019年度 主題

国際会長 : Sangbong Moon "Yes, We Can Change"
 「私たちは変えられる」
 アジア太平洋地域会長 : "Courage to Challenges"
 田中 博之 「挑戦への勇氣」
 東日本区理事 : 宮内 友弥 「為せば、成る」
 湘南・沖縄部長 : 佐藤 節子 "No challenge, No fruit."
 「心を元気に 絆を深め合える
 ワイズを目指そう！」
 クラブ会長 : 岡田 勝美 「楽しく活動し、仲間を増やしていこう！」



今月の聖句

敵を愛し、自分を迫害する者のために
 祈りなさい。あなた方の天の父の子となる
 ためである。
 父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、
 正しいものにも正しくないものにも雨を
 降らせてくださるからである。
 マタイ5・44-45
 (信徒の友、「みことばにきく」より)



巻頭メッセージ

胡麻尻真佐

昨年10月、紙上に元聖マリアンナ医大名誉教授
 長谷川和夫氏(88才)のご自身の認知症告示の記事
 を見て驚きました。今から33年前、神戸に住んでいた姑
 (86才)の一人暮らしが困難となり、急遽連れ帰り、
 長谷川先生に受診し、認知症と診断されました。姑は
 70年近く神戸に住み、父母会会長、婦人会会長等を永年務めて来た人
 でした。一年余り自宅で介護していましたが、運良く特別養護老人ホームに
 入所出来、そこで11年間元気に過ごしました。数年前に友人達とボラン
 ティアグループを作って、ホームを訪問、おむつたたみや話相手をしていた事が
 良かったのかもしれませんが。姑は永年暮らした神戸の震災の事も夫の事も口
 にする事なく子どもに還った様子で、私は幼なじみの一人でした。



長谷川先生は今年89才となられ、読売紙上の“時代の証言”欄に22
 回投稿され、先日終了しました。先生が命名された「認知症」が今や一般
 的な病名となりました。平均寿命が延び、長生き出来るのは喜ばしい事
 ですが、自身の心がけで認知症が予防出来る訳でなく、私にとって大きな課
 題となっています。 (完)

2018年9月本例

- 日時 9月28日(金) 18:30-
 場所 かけはし都筑
 司会 辻 剛 受付 岡崎 さよ子
 《プログラム》
 当日は、食事(お弁当)をいただ
 いた後会議を行います。
 1)開会点鐘 岡田会長
 2)ワイズソング・信条 一同
 3)今月の聖句とお祈り 鈴木 茂
 4)ゲスト・ビジター紹介 司会者
 5)会長挨拶
 6)卓話 赤間 廣さん
 (本誌P3参照)
 演題: 大相撲の歴史と伝統
 You&Iコンサート連絡
 7)YMCA報告 山中奈子
 8)Happy Birthday
 山中 奈子 (9/15)
 9)閉会点鐘 岡田会長

※翌日がYou & I コンサートのた
 め、懇親会は行いません。

コンサート後の「打ち上げ」にご参
 加ください。

《8月のデータ》

| | | | | | | |
|------|-----|--------|------|-------|---------|---------|
| 例会出席 | 19名 | 在籍会員数 | 17名 | 各種記録 | 前月 | 累計 |
| メンバー | 16名 | 月間出席数 | 17名 | 使用済切手 | 0g | 0g |
| ビジター | 0名 | メーキャップ | 1名 | スマイル | 13,346円 | 13,346円 |
| ゲスト | 3名 | 月間出席率 | 100% | | | |

9月度本例会、コンサート運営委員会、納涼会報告

今城宏子 記

日時：2018年8月24日（金）17：00～18：00
@田園都筑教会

出席：今城H・T、岡崎、岡田K・M、久保、胡麻尻、杉本、鈴木K・S、辻Ts、福島、三木、山中、横田（15名）

《クラブ本例会》

◇会長の開会点鐘に続き、ワイズソング・ワイズの信条を一同で唱和

◇鈴木Sワイズに今月の聖句朗読と祈禱を頂く。会長挨拶に続き、以下各項目に関して報告が行われた。

<報告>

- ・AIDS文化フォーラムin YOKOHAMA 8/3（金）～8/5（日）
- ・移動例会下見 8/6 諸事情により延期
- ・前期区費納付 8/15（水）
- ・東日本区2018－19年度臨時時代議員会 8/20（郵送）
- ・他クラブ納涼会 戸塚クラブ 8/21、横浜クラブ 8/23
- ・文献組織委員会 8/27（辻Tsワイズ出席）
- ・北Yまつり実行委員会委員選出
当クラブより岡田会長に依頼。久保、岡田M両ワイズは運営委員として選出済。
- ・東日本被災地支援 山元町訪問を11月15日に決定。

<今後の予定>

- ・8/25（土）横浜YMCA委員研修会 @湘南とつかYMCA
- ・9/4（火）Y-Y's協議会（後日台風のため流会）
- ・9/5（水）EMC事業委員会
- ・9/5 横浜クラブ 日本語スピーチコンテスト @県民ホール
- ・9/7（金）～9/9（日）第31回YVLF 山中湖センター（今城Tワイズ出席）
- ・9/11（火）事務例会 18：00
- ・9/15（土）湘南・沖縄部部大会 14：00～ @レンブラントホテル厚木
- ・9/22（土）北Y運営委員会（@三浦GEV）
- ・9/24（月・祝）YMCAスポーツ大会 @聖光学院 9：30～
- ・9/28（金）本例会（卓話：赤間氏） @かけはし都筑 18：30～ お弁当
- ・9/29（土）YOU & I コンサート @都筑公会堂 13時開場 14時開演 終演後（17時）懇親会 @GABRIEL

<CS予定・PR>

- ・歌声広場、すぱーん調理ボラ、ぼけつと送迎ボラ、みんなの家、社協ボランティア交流会、災ボラ 各担当から予定の確認を行った。毎月の活動以外に9/15（土）災ボラ シミュレーションが行われる。
- ・北Yの今夏最後のキャンプが守られて無事終了との報告が山中館長からされた。天候不順が続き、工夫が必要であったとのこと。

<Happy Birthday>

久保勝昭ワイズ（8/24） 辻剛ワイズ（8/30）

◇ 岡田会長の点鐘で閉会。



（普段とは異なる、田園都筑教会での本例会）

《YOU & I コンサート運営委員会》

（18：00～18：45）

- 出席：佐藤大祐（横浜室内合奏団）、大島・雲居（みんなの家）、エスキルドセン（アーモンド）、山中奈子（北YMCA）、岡田勝美、今城高之、横田孝久（つづきクラブ）以上敬称略
- ◇9月29日（土）開催の第8回コンサート準備進捗状況につき事務局より報告。
 - ◇運営委員会メンバーは、それぞれ関係者への周知に最後の努力を行うことで合意した。
 - ◇当日のボランティア参加については後日、事務局より案内して各団体の状況を取りまとめる。（次頁へ）



(全頁より)

《納涼懇親会》 (19:00~21:00)

クラブメンバーに加え、You&コンサート運営委員会から大島さん、雲居さん、エスキルドセンさんが参加下さり、持ち寄りのバラエティに富んだご馳走に舌鼓をうち美酒に酔いしれ、素敵な懇親の時を持つことが出来ました！感謝！



(左より、胡麻尻、岡田M、杉本、エスキルドセンさん)



(左より、岡田K、今城H、雲居さん)



(左より、三木、福島、岡崎、鈴木K)



(左より、山中、久保、大島さん、今城T)

※当日の参加者は、あと数人いましたが、写真に残っている方々は以上でした。写っていない方は又の機会にご紹介します。(編集子)

《9月本例会卓話者のご紹介》

お名前：赤間 廣さん

演題：「大相撲の歴史と伝統」

プロフィール： サラリーマン生活ほぼ40年(金融関係30年、製造業10年)後現在は健康生きがいづくりアドバイザーとしてルディック、ハイキング、勉強会の開催の他、地域の仲間とゴルフ、吹矢などを実施しています。また、異業種の方との勉強会の開催をしております。(ご本人談)



宮城県山本町の「つばめの杜保育所」、老人ホーム「みやま壮」、福島県南相馬市「原町聖愛こども園」にお送りする、9月の手作りカード。TKBお仕事会で作りました。

You&コンサート、ラジオで紹介される！

青葉区、都筑区、緑区周辺をカバーするコミュニティーラジオ局「FMサルス」が、土曜日お昼の番組でYou&コンサートを取り上げてくれることになり、去る9月15日(土)、運営委員会事務局の今城TとH、横浜室内合奏団の佐藤大祐代表の3名が、市ヶ尾の同局スタジオを訪

れ、約20分ほどのライブ番組に出演しました。番組のパーソナリティーによると、同番組は、都筑公会堂の行事予定でコンサートのことを知り、関心を持ったので出演を仰いだとのこと。特に強調されたのは、とすればハードルの高いクラシック音楽を誰でもが分け隔てなく楽しめるコンサートのコンセプトに共感を覚えること。

《投稿》 お勧めします！

何時のどんな会であったか記憶がありませんが、横浜YMCA田口総主事から、近く阿部志郎先生の近著が出版されるとのお話を聞き、早速アマゾンで予約したところほどなく、阿部先生の「信念に、生きる。隷属から自立へ」が届きました。

本書のあとがきを見ますと、阿部先生が語られたものを編集者でかつ介護職員の大江亮一さんが起こされたとのこと、それだけに、あの魅力的な阿部先生の闊達な語り振りがよく感じられます。今年、92歳になられるとは思えない先生の力強いお言葉でした。

5部構成の本書の第1部「日本の過ち」のごく一部をここにご紹介します。第二次大戦中、兵士として従軍された先生が見聞されたこと、また、戦後、アジアの各国を訪ねられて経験されたことから、「和解」することの大切さと難しさを述べておられます。罪を犯した者が罪を告白し、許しを求め、相手がそれをうけいれる、これが和解ですが、特に日本人にとって「和解」することがとても難しいようです。ドイツは、敗戦40周年に時の大統領が国家の罪を認めたとあります。以来、ドイツはユダヤ人に賠償金を払い続けており、その額は既に10兆円を超えたと書かれていました。何故日本人には和解が難しいのかの問いに先生は「面子」と言っておられます。私自身、自分を振り返ってみて心当たりがなくはありません。

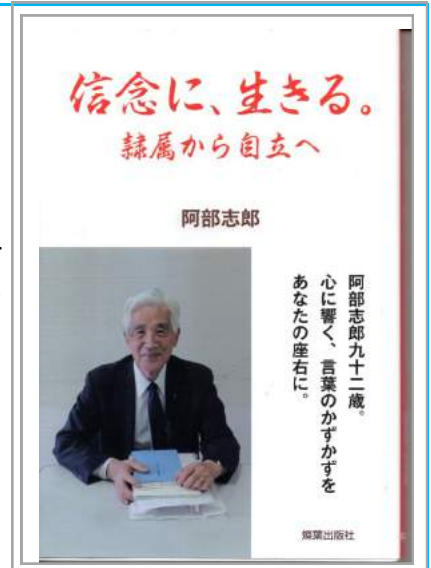
戦後、アメリカの情報に触れることができ、衝撃を受けたことがいくつかあったと書かれています。一つは、アメリカの戦争

に対する「思想」です。社会的に非常に大きな影響を与えた神学者ニーバーが言った言葉に「We must risk the war for peace」（平和のために戦争のリスクを冒そう）というものがあるそうです。日本は侵略のための戦争をしてきたのに対し、アメリカは平和を目指して戦争したということ

です。二つ目は、アメリカの軍隊には従軍牧師がいたということです。大切な任務の一つは、戦士から罪の告白を聞き、許しを与えること。三つめは、「Conscientious Objection」（良心的拒否）です。個人の信条から絶対的な平和主義者には兵役拒否を認めるということです。日本では、国家が人間に服従を強いてきたが、当時のアメリカでは、国家が人間の良心に服した、ということです。当時のご自分を顧みて、先生はご自身に良心があったか、と問われ、「かけらもなかった」と答えておられます。なんとなれば、「そういう教育を受けたことがなかった」とのことです。

本書はまだまだ続きますが、紙面もないので、皆様も本書をお読みになることをお勧めして本稿を終えます。

（今城高之 記）



《報告》 第31回YVLFに参加して

去る9月7日、ワイズ東日本区が主催するユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラムが、すっかり秋めいてきた山中湖畔の東京YMCA山中湖センターで開催され、2日目から1泊2日で編集子も参加したので、概略を報告します。

今回で31回を数えるこのフォーラムは、東日本各地から、リーダー経験の浅いリーダーたちを招いて行われる体験キャンプで、東日本の各YMCAから派遣していただくスタッフ（カウ

ンセラー）や、レイパーソンたるワイズメンたちと2泊3日のキャンプを行うものです。本年も、32名のワイズメを含む、72名が山中湖畔に集結、意義ある時を過ごしました。

今回の実行委員長は長津ワイズ（東京サンライズ）が務め、プログラム運営を宇都宮YMCAが行いました。綿密に作られたプログラムに従って運営された2泊3日は、多くの若いリーダーたちに、YMCAに連なる喜びと楽しさが十分伝わったものと思います。本来、静かに見守るのが役目のワイズ

かと思っていましたが、プログラム2日目の基調講演では山口直樹ワイズ（武蔵野玉クラブ）「今ユースリーダーに求められること」のテーマで、力強いメッセージを投げかけ、更にその後の昼食は、腕に自信のワイズの面々が、絶品カレーライスを作って若者の胃袋をしっかりグリップしたことを付け加えておきます。

これからも毎年開催されるこのフォーラムに、より多くのワイズが参加すること希望して筆をおきます。（編集子）



《北Y便り》 つぎワイズメン&ウィメンズ・クラブが手を取り合っても活動している、横浜北YMCAの毎月のトピックスを、館長で、当クラブメンバー（担当主事）の山中 奈子さんに報告していただきます。

まだまだ暑い日が続く9月ですが、Y M C Aでは秋に予定されています各種イベントの準備が始まっています。また、年末に予定されている「冬季キャンプ・冬期講習会」の準備もあわせて始まっています。

9月には、会員スポーツ大会、Y O U & I コンサート、10月には、室内サッカー大会、チャリティーラン、11月には北Y M C Aまつり（バザー）などが予定されています。つぎワイズの皆様には、各イベントへのご指導とあわせてご協力もお願いいたします。

横浜市では、従業員等の健康保持・増進の取組が、将来的に企業の収益性等を高める投資であると捉え、従業員等の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」の概念を幅広く普及させるため、健康経営に取り組む事業所を、横浜健康経営認証事業所として認証します。横浜YMCAは2017年度「クラスA」

（経営者が健康経営の概念を理解し、健康経営宣言等で明文化しているもの）に認証されました。今後クラスAA・AAAを目指して取り組んでいきます。

北YMCAでも業務会終了後、毎日ストレッチなどに取り組んでいます。「1時間座っていると22分寿命が縮む」そうです。（健康運動指導士の藤澤さん弁）皆さんも少しずつ体を動かしていきましょう！



《10月の主な行事》


- ・10月8日（月）スタッフ YMCA記念日
- ・10月13日（土） 室内サッカー大会
（@中央YMCA）
- ・10月20日（土） インターナショナルチャリティーラン
（山中 奈子記）

YMCA  みつかる。
つながる。
よくなっていく。


皆で参加し、 区大会を成功させよう！

今年度東日本区大会のお知らせ。
若干早手回しとは思いますが、来年6月開催の「第22回東日本区大会」のご案内です。
代々木の「国立オリンピック記念青少年総合センター」において、東京サンライズクラブのホストで行われる今年度の区大会は、場所の便もよく、我々には日帰りも十分可能なロケーションです。それだけに、我々首都圏のクラブには、ことのほか参加の期待が寄せられています。これまで、遠方での開催のため区大会を敬遠しておられた皆さんも、ぜひこの機会に参加していただき、東日本区各地の仲間や、西日本、更には海外から参加する仲間たちとの交流を楽しみましょう。皆さんの 来年の予定表に、今からしっかり記入しておきましょう。

(クラブ会長)



つなごう
平和への
道しるべ



ワイズメンズクラブ国際協会
第22回東日本区大会
日時：2019年6月1日(土)～6月2日(日)
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
ホストクラブ：東京サンライズクラブ
協力クラブ：あずさ部各クラブ

・・・編集後記・・・

▽猛暑に始まった今年の夏は、一方では、台風、地震など、夏から秋に向けて自然災害が猛威を振るいました。平成30年7月豪雨と命名された、西日本から北海道まで、広範囲な地域で記録された豪雨(台風7号と共に)は死者227名の被害をもたらしました。続いて列島を襲ったのは、7月25日に発生した台風12号。伊豆諸島付近に接近後、東海道沖を西進するといった、これまでに見られない異常な進路を進み、逆走で一躍有名になりました。次いで、8月28日に発生し、9月4日に日本に上陸した台風20号、ほぼ同時に発生し日本に上陸した21号はそれぞれ猛威を振るい、死者を含む甚大な被害をもたらしました。台風の余波がまだ残る9月6日朝、北海道を襲った地震(北海道胆振東部地震)は震度7を記録し、台風で地盤の緩んだ厚真町では、広範囲にわたる土砂災害が発生し、多数の死者を含む甚大な被害が発生しました。▽これら自然災害への対処の術が無いのでしょうか。台風や地震を止めることはできませんが、被害を最小にする策はいろいろあるのではないのでしょうか。例えば、地震後の北海道全域での停電など、多くの専門家は想定外の出来事ではないと言っています。自然災害大国のわが国では、被害を最小限にするためにもっと知恵と工夫を絞るべきだと思います。▽これから冬に向かうとき、特に北国の被災地では、待たなして寒さとの戦いが始まることでしょう。29日に開催する「第8回You & Iコンサート」では、支援金の募金活動に一層の努力をしましょう▽本誌にも短い報告を掲載しましたが、(編集子)は山中湖畔でのMLCに参加した来ましました。YMCAに繋がる若者たちの、すがすがしい熱気に、心を洗われた気がしました。Yのユース・リーダーたち、最高！

(編集子)